

nakcazawa

『使える弁証法』の第2回プレゼン（籠谷、崎山、白澤）に関するスレッドです。12日（日）くらいをメドに書き込んでください。

つちやよしき

内容も分かりやすかったし、考える部分もすごく興味深かった。

最後のまとめが、「使える弁証法」というタイトルにふさわしい内容で感動した。

高本恭吾

先生の最後の話にポメラ キングジムのお話があったが、現代のパソコンは、重かったり、動作が重くなったり、そもそもインターネットがない環境では使えなかったりして、多機能だが、ある一面ではかなり不便である。ポメラ キングジムはキーボード付の電子メモ帳という単機能でありながら、従来のメモ帳の「軽い」「どこでも」というようなメリットと、パソコン（キーボード）の、「速記」「データ保存」という両方の特性を活かして、時代のニーズに合わせた形でメモ帳が螺旋的発展をしたのだと考えると、メモ帳のような今私たちが使っている当たり前のものが、螺旋的発展を遂げることによって何か社会にインパクトを与えられる可能性があるのだと感じ、弁証法の考え方の重要性を感じました。

棗田進太郎

先週自分たちが発表した際の反省点としてチームの発表内容をお互いが理解して進めるという点を上げたが、その点が今週のチームは出来ていたように感じた。プレゼンの内容は、3人ともが本をしっかりと読んでそれぞれが弁証法という大きなテーマの中で違った内容のプレゼンしてくれたので授業の中にしっかり入り込むことが出来たし、特に最後の対話力という答えを出すグループワークは、色々な意見が出てどれが答えでもおかしくないようなワードばかりだったが、結果として対話力というワードを知らされた時確かに1番納得出来た。今までの中で1番有意義なグループワークだったんじゃないかと思った。

三木美裕理

今回は質問がわかりやすく、マーケティングをずっと考えているみたいでした。

籠谷郁吹

最後のまとめの部分が、まとめ切れていなかったなので次回からのプレゼンではその辺を意識していきたい。

尾崎星太

今売れているものと、過去売れていたものとの違いを考えるのは楽しかった。内容を理解しやすく説明してくれていたのも、とても良いプレゼンだったと思う。

西川 茉里

2度目のプレゼンで話を工夫しないと難しいのにとっても面白い内容で驚きました。

最終的に何が大事なのかをきちんと発言してくれたおかげで話の着地点がわかりやすかったです。

川端 真由

内容がまとまっていてわかりやすかった。

グループワークのお題も面白く、いつもよりも頭を使えたと思う。（編集済み）

崎山 綾香

前回と被らないようにプレゼンをするのが難しかった。プレゼンの内容が難しくてちゃんと伝えきれなかった部分もあったので反省している。

中井 美裕

なにが言いたいのかをはっきり説明していてわかりやすかった。

金山 恵大

2回目の弁証法だったが、わかりやすく説明されていたと感じた。また、弁証法を身につけると何が得られるのかが明確に説明されていてよかったと思う。

清水 陸人

本の内容をしっかりと理解しているプレゼンだなと思いました。わかりやすい説明で、工夫されているなと思いました。

増田 光樹

聞き手に何を考えさせるかがはっきりしていて聞きやすかった。グループワークも趣旨のよくわかる質問だったため自分のグループのみんなも楽しみながら考えていた。

白澤 卓也

難しい内容をわかりやすいように伝えきることができなかった。次は分かりやすく伝えられるように頑張りたい。

新谷

先週の内容を復習した上で、新しく否定の否定による発展について学べて面白かった。すべての商品はこのように発展してきたのかなと考える機会になった。

nakcazawa

フロアの人々も指摘してくれていますが、説明が明確で、テキストの内容をしっかりと理解できることがよくわかるプレゼンでした。

ただ、一つ気がかりなのは、今のタイプのプレゼンが 21 期生の主流になってしまうと、プレゼン担当者しかテキストを読んで来なくなる（読んで来なくてもプレゼン担当者が一から説明してくれるから支障なく参加できる）のではないかと、ということです。2 回生のためのゼミ見学会を兼ねている場合には、そのようなやり方でもかまわない（むしろふさわしい）と思いますが、今のやり方だとプレゼン担当者がテキストを曲解していても、フロアから「その解釈はおかしいんじゃない？」と突っ込みの入る余地がほとんどなく、そのまま進んでしまいそうです。通常のゼミの時間では 21 期生全体のレベルアップのためにもうひとひねり欲しいところです。フロアのメンバーを「お客さん」にしてしまうのは避けて欲しいですね。あくまでこれは今後の課題ということで。

nakcazawa

明日から『ヤバい経済学』ですが、みんな、入手して目を通しておくのだよ。きちんと理解できなくてもよい。「わからなさ」「もやもや感」を抱えて参加する人が多くなればなるほど、ゼミの議論はもっと活発になる。